

あなたの知らない、 日本に暮らす外国人

—何を知ってもらい、何を一緒に考えてもらいたいのか—

日時：2023年2月15日（水曜日）
14時00分～17時30分

方法：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

定員：500名（先着順）

参加費：無料

申込先：[こちら](#)から

※当日のURLは開催日の数日前
に申込時のアドレスに送付します。



2022年6月、在留外国人の数が約296万人となり、過去最高を記録しました。日本の人口が減少する一方、外国から日本に移り住む人、働きに来る人、勉強に来る人たちの数は急速に増えています。同時に、コロナの影響を大きく受けた人々の中には、日本に暮らす在外留外国人も数多く、現在も厳しい状況は続いています。

本シンポジウムでは、外国人支援分野の最前線で活躍しているNPO/NGOの代表者に登壇いただき、生活・教育・医療・労働などの視点から、在留外国人が抱える課題の複雑さを読み解きます。さらに、在留外国人とともに暮らすウィズコロナ・アフターコロナ時代に求められる私たちの視点、日本の制度等について団体の関係者と共に議論し、考えます。

プログラム

14:00 開会

14:15-15:00 第1部 報告「私たちの新たな試み—思いをこれからへ」

在留外国人にかかわる活動に新たに参入した3つの団体の思いや新たな挑戦の様子を報告します。

15:10-16:30 第2部 座談会「日本で日々を暮らす外国人の声—声から課題を探る」

教育、労働、医療、地域を軸にそれぞれの特色を生かし活動に取り組んできた4つの団体の代表者をお迎えして、各分野の課題の背景や新たな解決法への模索とその成果などを中心に、日本に暮らす在外留外国人の今の様子を深堀します。

16:40-17:25 第3部 トークセッション「私の描く未来—共に暮らす、共に生きる社会へ」

日本の将来において在留外国人の方と「ともに暮らす・生きる」ために求められる視点、制度等について考えます。

17:30 閉会

★登壇者情報は次のページ



（※）「在留外国人への緊急支援と持続的な体制構築事業（SAFOR）」は、休眠預金事業として日本国際交流センター（JCIE）とジャパン・プラットフォーム（JPF）がコンソーシアムを組み実施しています。この事業には、外国人支援分野で活動する9つの団体が参画しています。



第1部発表者

司会者：



李惠珍 (イ・ヘジン)

(公財) 日本国際交流センター
シニア・プログラム・オフィサー

登壇者：



本田文代

(NPO 法人) 場とつながりの研究センター
国際事業部長



岩橋誠

(NPO 法人) POSSE 相談員



ドウ・シ・ハ・エン

(NPO 法人) 場とつながりの研究センター
国際事業部スタッフ



穴戸健一

(一社) JP-MIRAI サービス 事務局長
代行/JICA 理事長特別補佐

第2部登壇者

司会者：



藤原航

(NPO 法人) ジャパン・プラットフォーム
地域事業部長

登壇者：



長澤正隆

カトリックさいたま教区終身助祭、
(NPO 法人) 北関東医療相談会
理事・事務局長



村松清玄

(公社) シャンティ国際ボランティア
会 国内事業担当



松本雅美

(学校法人) ムンド・デ・アレグリア学校
校長



吉水慈豊

(NPO 法人) 日越ともいき支援会
代表理事

第3部登壇者

司会者：



毛受敏浩

(公財) 日本国際交流センター 執行理事

登壇者：



田中宝紀

(NPO 法人) 青少年自立援助センター
定住外国人支援事業部責任者



鳥井一平

(NPO 法人) 移住者と連帯する全国
ネットワーク 共同代表理事

問い合わせ先

(公財) 日本国際交流センター (担当：金子)

youth@jcie.jp

*送信する際は、@の前のスペースを削除してください。

共催：(公財) 日本国際交流センター (JCIE)

(NPO 法人) ジャパン・プラットフォーム
(JPF)

助成：(一財) 日本民間公益活動連携機構
(JANPIA)

